

1 [星葉科大]

$\vec{a}=(1, 3, -2)$, $\vec{b}=(1, -1, 1)$ とし, t を実数とすると, $|\vec{a}+t\vec{b}|$ は $t=$ で
最小値 1 をとる。

2 [東海大]

$\triangle ABC$ の内部に $4\overrightarrow{AP}+3\overrightarrow{BP}+2\overrightarrow{CP}=\vec{0}$ を満たす点 P がある。
(1) $\overrightarrow{AP}=^{\text{ア}}\text{ }\overrightarrow{AB}+^{\text{イ}}\text{ }\overrightarrow{AC}$ となるから, AP を延長した直線と BC との交点を
D とすると, $AP:PD=^{\text{ウ}}\text{ }:^{\text{エ}}\text{ }$ である。
(2) $\triangle ABC$ と $\triangle APB$ の面積をそれぞれ S_1, S_2 とすると, $S_1:S_2=^{\text{オ}}\text{ }:^{\text{カ}}\text{ }$
である。